

テーマ 「交通安全教育・指導」

交通社会の事故状況に触れ、児童が自分の命を守るために必要な行動の習得

レポート

日進市立 東小学校

教職員研修

令和6年1月18日(木)

教室・外通路

60分間

教職員 約30名

普通乗用車での死角体験



- ヘルメットのポイント
- 1、まゆ毛まで深くぶる
 - 2、耳の横 ベルトはV字
 - 3、あごの下 指2本分

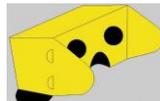


愛知警察署 清水さんのお話
身近なところでも重大事故が発生しています。決して「自分だけは大丈夫だ、車が止まってくれる。」と思っはけません。

GIANTストア名古屋
店長 山上さんのお話
安全のためには、自転車の整備、そして、身体に合わせることが大切です。



チャイルドビジョン



ルームミラー



たくさんの死角がある自動車。車の運転者から見えていないかもしれない。道を渡る時は止まって安全確認「右・左・右・後ろ」。チャイルドビジョンで、児童の視野の狭さを体験した先生方は、「だからこそ、見る方向に顔を向けて視界を拡げて安全確認することが大切です。」

小学校職員からの講評

- ・片山講師について
動画や道具で、交通安全上の危険について大変分かりやすいレクチャーを受けました。視野の狭い子どもたちは、「右・左・右・後ろ」と、顔をしっかり動かして、安全確認の習慣を身に付けることが大切と教わりました。
- ・清水講師について
事故が起こりやすい状況を実際の事例を使って説明していただきました。また、教員からの交通ルールに関する質問にも分かりやすくお答えいただきました。ヘルメット着用を推進するため、様々な努力をいただいていることも知ることができました。
- ・山上講師について
正しい自転車の選び方やヘルメットの付け方を学びました。子どもの自転車を選ぶときに、今後の成長を考え、つつい大きめの物を選びがちです。しかし、「命」に直結する問題です。子どもたちの安全のため、それぞれに合ったサイズを選ぶことが大切であると強く感じました。

主催：日進市立 東小学校

受託：交通教育NPO OSCNじてんしゃスクール

プログラム立案・代表講師：片山昇

講師：愛知警察署 清水勝也・GIANTストア名古屋 山上伸夫